

タマネギ秋まき直播栽培における雑草の体系防除

福島県農業総合センター 作物園芸部 野菜科

1 部門名

野菜－タマネギ－雑草防除

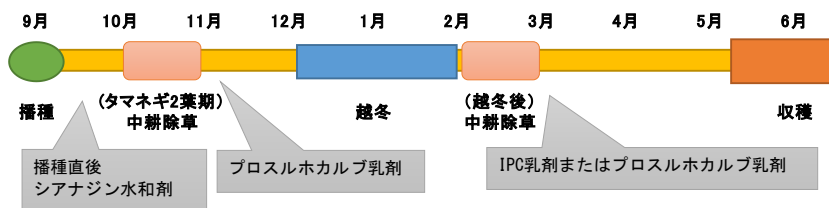
2 担当者名

横田祐未、八木田靖司、石井詩歩

3 要旨

タマネギ直播栽培は本州で使用可能な除草剤の登録が少ないため、雑草の体系防除が課題となっていた。そこで本試験では、播種直後に利用できるシアナジン水和剤と、越冬前と翌春の中耕後散布できるプロスルホカルブ乳剤、IPC 乳剤を組み合わせた雑草体系防除を構築した（図1）。

- (1) 体系処理を行うことで雑草の発生を大きく抑制できる（図2）。
- (2) 体系処理で手取り除草と同程度の収量が確保できる（図3）。



※プロスルホカルブ乳剤は中耕後（雑草発生前）ただし、収穫45日前までに使用する。
※IPC乳剤は中耕後ただし、収穫30日前までに使用する。

図1 タマネギ秋まき直播栽培における雑草の体系防除（2020年）

（商品名…シアナジン水和剤：グラメックス水和剤、プロスルホカルブ乳剤：ボクサー、IPC 乳剤：クロロ IPC）

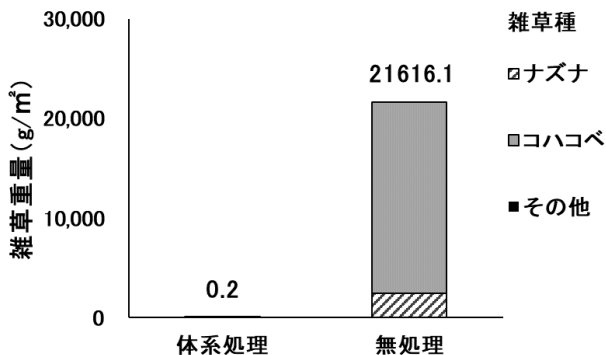


図2 体系処理の抑草効果（2020年）

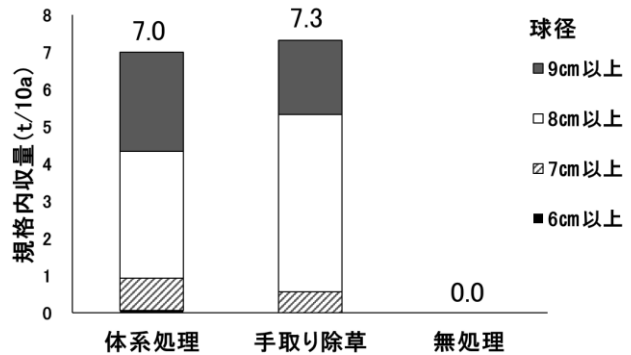


図3 体系処理が収量に及ぼす影響（2020年）

※手取り除草は随時除草を行い、雑草が発生しないように管理した。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成31～令和2年度
- (2) 研究課題名 大規模露地野菜の効率的栽培管理技術の実証研究
[農林水産省 食料生産地域再生のための先端技術展開事業 (JPJ000418)]

5 主な参考文献・資料

なし